

# 令和6年度第2回津地域高等学校活性化推進協議会

## 配 付 資 料

○令和6年度 津地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿	P 1
○【資料1】 令和6年度第1回津地域高等学校活性化推進協議会の概要	P 2
○【資料2】 津地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況	P 4
○【資料3】 津地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）	P 6
○【資料4】 津地域の中学校卒業生数と県立高等学校入学定員の推移と予測	P 7
○【資料5】 県立高等学校（全日制）の学級数の状況（令和7年度）	P 8
○【資料6】 各地域の学科別募集定員の割合（県立私立全日制）	P 9
○【資料7】 県立高校（全日制）の専門学科の配置状況	P 10
○【資料8】 津地域の中学校卒業生進路先の推移と 各学校における地域内中学校卒業生数の割合	P 11
○【資料9】 津地域の県立高校卒業生（全日制）の進路状況	P 12
○【資料10】 津地域の県立高等学校（全日制）への交通手段等	P 14
○【資料11】 令和21年度までの津地域の 県立高等学校（全日制）の総学級数について	P 17
○【資料12】 上野高校・川越高校の探究的な学びについて	P 18
○【資料13】 地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査の実施について	P 22
○【資料14】 地域の県立高校に関するアンケート調査の結果について	P 30



## 令和6年度 津地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No		所 属 及 び 名 前
1	学識経験者	三重大学 教育学部 教授 大日方 真史
2	地域有識者	津商工会議所 常務理事 塚澤 正樹
3		津市商工会 事務局長 家城 吉孝
4	市町教育委員会教育長	津市教育委員会 教育長 森 昌彦
5	県立高等学校長代表	県立久居高等学校 校長 中村 聖一
6	小中学校長代表	津市立美杉中学校 校長 太田 文彦
7	小中学校PTA代表	津市PTA連合会 会長 (津市立一志東小学校PTA) 木原 剛弘
8	高等学校PTA代表	津地区高等学校PTA連合会 代表 (久居高等学校PTA) 森松 千恵
9	小中学校教職員代表	津市立養正小学校 教諭 大藪 直之
10	高等学校教職員代表	県立津商業高等学校 教諭 松井 秀行

## 令和 6 年度第 1 回津地域高等学校活性化推進協議会の概要

1 日時 令和 6 年 10 月 1 日（火）19 時 00 分から 20 時 55 分まで

2 場所 三重県庁 講堂棟講堂

### 3 概要

令和 4 年 3 月に策定された「県立高等学校活性化計画」や、令和 5 年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する 15 年先までのこの地域の中学校卒業者の減少の状況をふまえ、以下の 2 点について協議しました。

- ① これからの津地域の県立高等学校の学びと配置のあり方を考える上で、この地域で大切にしたいことについて
- ② 今後、協議を深めていくための協議会の進め方や必要な視点などについて

主な意見は次のとおりです。

#### （多様な学習ニーズへの対応等について）

- 高校入学後の満足度を高めるためには、子どもたちが高校での学びや卒業後の進路を見据えて学校を選択する力が必要である。そのためには、地域の小中学校と高校の学びを連携させ、子どもたちが小さいころから将来を考え、自らの進路を自らが選択する力を身につけていくことが大切である。
- 少子化が進行しているにも関わらず、不登校の児童生徒は増えており、中学校卒業者数の減少以上に、全日制高校への進学者数が減っている。学校外で、不登校やひきこもりの子どもたちと関わっているが、特に担任の業務が多すぎるように見受けられる。教員数は法律で定められているとのことだが、もっと外部の力を活用してはどうか。
- 中学校においても、不登校傾向や特別な支援を必要とする子どもたちが増えているが、その多くは高校で学び直し、卒業後に進学や就職をしたいと考えている。近年そうした子どもたちの多くが通信制高校に進学しているが、仲間と共に学習したり、支えてくれる教員がいたりするという環境も大切である。全日制高校においても多様な学習ニーズに答えていくという視点が必要となってきた。
- 小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の中には、特別支援学校ではなく高校への進学を希望している者も多い。小中学校では、特別な支援を必要とする子どもたちが、社会で必要とされる力を身につけるとともに、全ての子どもたちが共に学べる関係づくりに取り組んでいるので、高校においても、誰もが安心して学べる学校づくりに取り組んでほしい。

### (学びの選択肢の維持・充実について)

- 中学生が高校選択を考える際に、地域に学びの選択肢が多い状況をつくるのが大切である。
- 小規模校には、全ての職員が個々の生徒の抱える背景等を把握したり、丁寧に関わることができたりするなど、小規模校ならではのよさがある。一方で、多様な選択科目の開設、少人数・習熟度別指導の実施、社会・理科・芸術等における専門性の高い教員の配置、多様な進路への対応など、子どもたちの学びに関しては、学校規模があることのメリットは大きいと感じている。
- 中学校においても、学校規模が小さくなれば、部活動数が減ったり、部があっても単独チームで出場できなくなったりするので、小規模校のデメリットはよくわかる。一方で、小規模校だからこそできることも、ぜひアピールしてもらいたい。
- 学級数が減ることで、子どもたちの進路選択の幅が狭まることのないよう、県独自の予算で教員を配置してほしい。とはいえ、前回の議論のとおり、普通科の学級数がある程度減じながら、専門学科を維持していく方向性は妥当であると考えている。
- 川越高校や上野高校では、来年度から普通科を探究科や学際探究科に改編すると聞いている。当地域の普通科の特色化・魅力化について協議するのであれば、生徒が主体的に課題解決に取り組む探究的な学びを中心に据えた学科の設置を考えてはどうか。
- 地域の事業所の多くが人手不足の状態であり、就職を希望する高校生には、ぜひ地元で働いてもらいたいと考えている。職業学科だけではなく、就職者が多い普通科においても、仕事と結びつくような学びを取り入れてもらいたい。また、白山高校に林業科を設置するなど、地域産業と結びついた学科やコースを設置すれば、地域の活性化にもつながるのではないかな。
- 中学校卒業生数が減少する中であっても、例えば、eスポーツなど特色ある学科を設置し、学校の魅力を高めることで、県外や他地域からの入学者数を増やせるのではないかな。
- 遠隔授業を導入することで、自宅から遠い高校に通わなくても、同じ授業を地元の高校で受けることができるようになれば、地元の高校への進学を希望する中学生が増え、高校の活性化にもつながるのではないかな。
- 公立志向の生徒や保護者も一定数いるので、中学校卒業生数が減少する中、高校の入学定員のあり方を検討する際には、公私比率も含めてしっかりと議論してもらいたい。

### 《今後の協議に必要な資料や進め方について》

- 当事者である津地域の高校生や中学生に対してアンケート調査を実施し、その意見が反映されるようにしてほしい。
- ⇒(事務局) 委員のみなさまからアンケート調査の実施について、ご賛同いただいたので、令和7年度に実施する方向で検討したい。

津地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況【令和7年度：現中3】

資料2①

学校名	学科・コース	R7 入学 定員	R6.12月 進学希望者数		前期選抜等			後期選抜		再募集 日程	入学者 数	欠員
			定員との 差	募集定員	志願者数	合格内定者数	募集定員	日程				
津	普通	320	346	26				320	後期選抜出願 書類受付 2月21日 ～26日  後期選抜志願 書類変更受付 3月3日 ～5日  後期選抜検査 3月10日  合格発表 3月17日  後期選抜追検査 ・再募集検査 3月21日  合格発表 3月25日			
	学校計	320	346	26				320				
津西	普通	240	195	▲45				240				
	国際科学	80	143	63	40	139	41	39				
	学校計	320	338	18	40	139	41	279				
津商業	ビジネス	200	248	48	100	216	108	92				
	情報システム	40	32	▲8	20	22	22	18				
	学校計	240	280	40	120	238	130	110				
津東	普通	240	324	84	60	178	62	178				
	学校計	240	324	84	60	178	62	178				
津工業	機械	120	99	▲21	60	92	66	54				
	電気	40	54	14	20	54	22	18				
	電子	40	27	▲13	20	24	22	18				
	建設工学	40	46	6	20	45	22	18				
	学校計	240	226	▲14	120	215	132	108				
久居	普通	200	194	▲6	60	153	66	134				
	学校計	200	194	▲6	60	153	66	134				
久居 農林	生物生産	40	80*	50	10	20	45	22	36			
	生物資源	40		42	2	20	41	22				
	環境情報	40	80*	20	▲20	20	21	21	37			
	環境土木	40		28	▲12	20	29	22				
	生活デザイン	80	83	3	40	80	44	36				
	学校計	240	223	▲17	120	216	131	109				
白山	普通	40	33	▲7	20	32	22	18				
	情報 コミュニケーション	40	17	▲23	20	21	21	19				
	学校計	80	50	▲30	40	53	43	37				
地域内県立高校 計		1,880	1,981	101	560	1,192	605	1,275				

※「R6.12月進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施された調査結果

※久居農林:後期選抜はくくり募集（入学者を一括して募集し、入学後に所属する学科・コースを決定する）

津地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況【令和6年度：現高1】

資料2②

学校名	学科・コース	R6 入学 定員	R5.12月 進学希望者数			前期選抜等			後期選抜			再募集			入学者 数	欠員
			定員との 差	募集定員	志願者数	合格内定者数	募集定員	志願者数	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数				
津	普通	320	414	94	/	/	/	320	376	320				320		
	学校計	320	414	94	/	/	/	320	376	320				320		
津西	普通	240	223	▲17	/	/	/	240	210	240				240		
	国際科学	80	154	74	40	143	40	40	135	40				80		
	学校計	320	377	57	40	143	40	280	345	280				320		
津商業	ビジネス	200	223	23	100	208	108	92	114	92				200		
	情報システム	40	24	▲16	20	20	20	20	11	20				40		
	学校計	240	247	7	120	228	128	112	125	112				240		
津東	普通	280	301	21	84	176	91	189	226	189				280		
	学校計	280	301	21	84	176	91	189	226	189				280		
津工業	機械	120	130	10	60	132	66	54	63	54				120		
	電気	40	40	0	20	39	22	18	18	18				41		
	電子	40	27	▲13	20	23	21	19	17	19				40		
	建設工学	40	48	8	20	46	22	18	18	18				40		
	学校計	240	245	5	120	240	131	109	116	109				241		
久居	普通	200	218	18	60	198	66	134	144	134				202		
	学校計	200	218	18	60	198	66	134	144	134				202		
久居 農林	生物生産	40	80*	58	18	20	54	22	36	35	36				80	
	生物資源	40		34	▲6	20	35	22								
	環境情報	40	80*	47	7	20	45	22	36	36	36				80	
	環境土木	40		32	▲8	20	32	22								
	生活デザイン	80	64	▲16	40	60	44	36	38	36				80		
	学校計	240	235	▲5	120	226	132	108	109	108				240		
白山	普通	40	27	▲13	20	27	22	18	13	13	5	5	5	40		
	情報 コミュニケーション	40	28	▲12	20	28	22	18	19	18				40		
	学校計	80	55	▲25	40	55	44	36	32	31	5	5	5	80		
地域内県立高校 計		1,920	2,092	172	584	1,266	632	1,288	1,473	1,283	5	5	5	1,923	0	

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは追検査による合格者等を含むため

※「R5.12月進学希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された調査結果

※久居農林:後期選抜はくくり募集（入学者を一括して募集し、入学後に所属する学科・コースを決定する）

# 津地域 中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)

(R6第1回協議会 資料5 再掲)

資料3

令和6年5月1日 教育政策課調べ

	R 3.3 卒業 2,586	R 4.3 卒業 2,520	R 5.3 卒業 2,655	R 6.3 卒業 2,636	R 7.3 現中3 2,535	R 8.3 現中2 2,524	R 9.3 現中1 2,435	R 10.3 現小6 2,419	R 11.3 現小5 2,375	R 12.3 現小4 2,303	R 13.3 現小3 2,288	R 14.3 現小2 2,237	R 15.3 現小1 2,201
津地域 (津市)		-66	135	-19	-101	-11	-89	-16	-44	-72	-15	-51	-36
					-101	-112	-201	-217	-261	-333	-348	-399	-435

【参考】

鈴鹿地域 (鈴鹿市・亀山市)	卒業生数 前年度対比 R6.3対比	2,259 150	2,409 -188	2,221 192	2,413 192	2,267 -146	2,255 -12	2,218 -37	2,117 -101	2,096 -14	2,066 -30	1,888 -178	1,783 -105
伊賀地域 (伊賀市・名張市)	卒業生数 前年度対比 R6.3対比	1,429	1,455 26	1,421 -34	1,408 -13	1,437 29	1,358 -79	1,364 6	1,321 -43	1,217 -55	1,182 -35	1,156 -26	1,076 -80
松阪市	卒業生数 前年度対比 R6.3対比	1,390	1,386 -4	1,457 71	1,467 10	1,444 -23	1,399 -45	1,440 41	1,335 -105	1,208 -31	1,254 46	1,219 -35	1,103 -116
県内合計	卒業生数 前年度対比 R6.3対比	15,777	16,244 467	16,055 -189	15,891 -164	15,712 -179	15,488 -224	15,241 -650	14,769 -472	14,000 -404	14,049 49	13,442 -607	12,792 -650
						-179	-403	-1,122	-1,487	-1,891	-1,842	-2,449	-3,099

【県立高校(全日制)】

津地域	入学定員	1,945	1,945	1,920	1,920	1,880
	学級数(募集)	49	49	48	48	47
県内合計	学級数(募集)	271	274	268	263	258
	欠員数	325	324	334	207	—

【私立高校(全日制)】

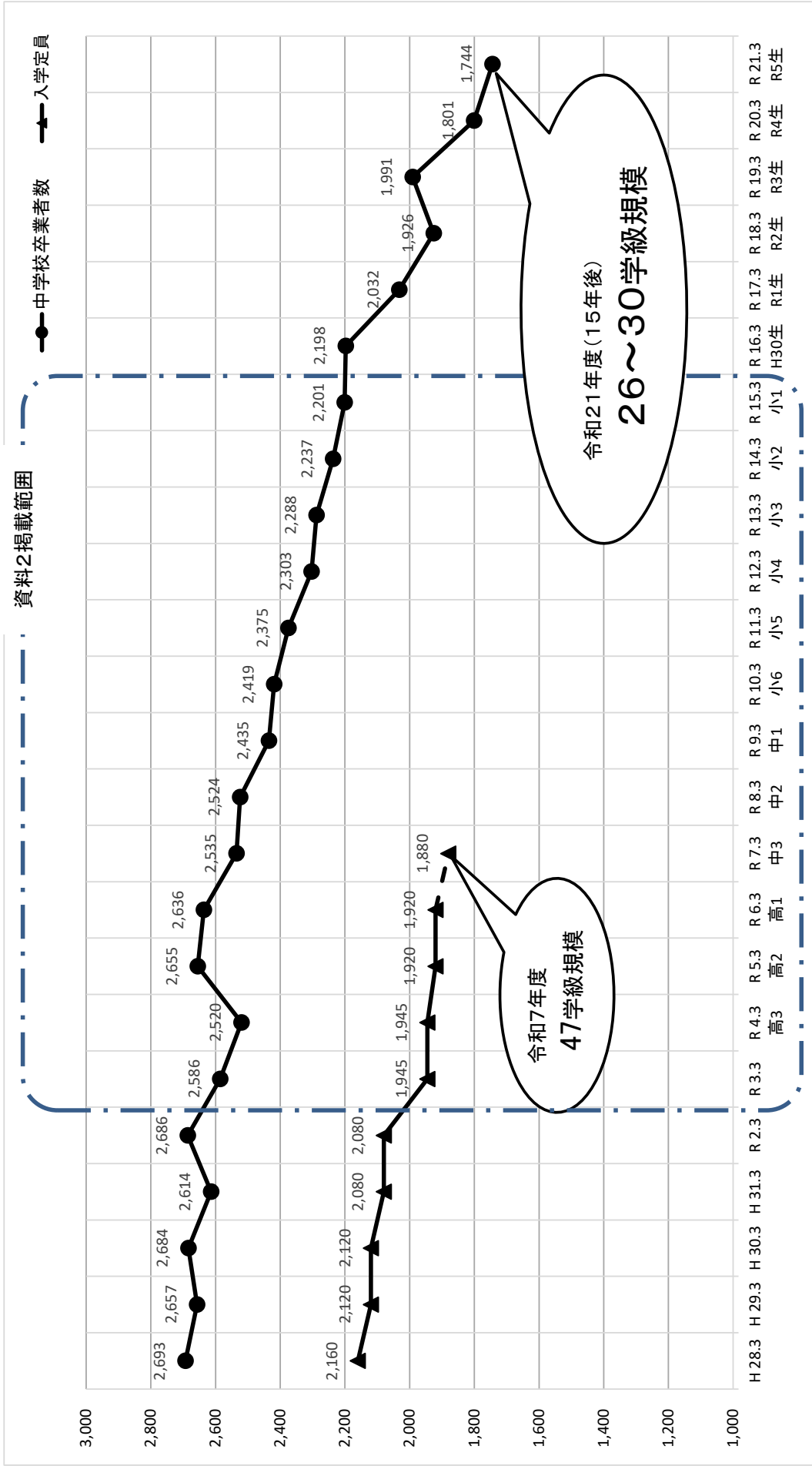
高田	入学定員	560	570	565	560	560
	入学者数	562	595	618	578	—
セントヨゼフ	入学定員	125	135	130	130	125
	入学者数	61	75	73	81	—



# 津地域の中学校卒業生数と県立高等学校入学定員の推移と予測

## 資料4

(R6第1回協議会 資料6 一部修正)



【津地域の出生数】

	H27年度 現小3	H28年度 現小2	H29年度 現小1	H30年度 5~6歳	R元年度 4~5歳	R2年度 3~4歳	R3年度 2~3歳	R4年度 1~2歳	R5年度 0~1歳
津市	2,098	2,040	2,045	2,020	1,868	1,770	1,830	1,655	1,603
予測	2,288	2,237	2,201	2,198	2,032	1,926	1,991	1,801	1,744

県立高等学校(全日制)の学級数の状況(令和7年度)

地域名	入学定員 (F7.3延着見込 数)	40人ベースの学級数								学校数	
		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級		
桑名	1,200 (1,985)				桑名北(普) 桑名工業(工)			桑名西(普) いなべ総合学園(総)		桑名(普・理・看)	5校 (30学級)
四日市	2,520 (3,446)				朝明(普・福) 四日市四郷(普) 菰野(普)		四日市西(普) 四日市中央工業(工) 四日市農芸(農・家)	四日市商業(商)	川越(探・国) 四日市工業(工)	四日市(普) 四日市南(普)	11校 (63学級)
鈴鹿	1,120 (2,267)		石薬師(普)▲1		飯野(応予・英) 稲生(普・体)		亀山(普・情・家)	白子(普・家)▲1	神戸(普・理)▲1		6校 (28学級)
津	1,880 (2,535)		白山(普・商)			久居(普)	津東(普)▲1 津商業(商) 津工業(工) 久居農林(農・家)			津(普) 津西(普・国)	8校 (47学級)
松阪	1,000 (1,879)		飯南(総) 昂学園(総)			松阪工業(工) 相可(普・農・家)			松阪(普・理)		6校 (25学級)
伊勢志摩	1,160 (1,748)		水産(水)		宇治山田 商業(商) 伊勢工業(工) 明野(農・家・福)		宇治山田(普)		伊勢(普)		9校 (29学級)
伊賀	1,000 (1,437)		あけぼの学園(総)			名張(総)	上野(学探・理) 伊賀白鳳※ (商・工・農・福) 名張青峰(普)				5校 (26学級※)
東紀州	360 (415)				尾鷲※(普・商・工)		熊野青藍△5※				2校 (10学級※)
学校数		3校 (3学級)	6校 (12学級)	0校 (0学級)	12校 (49学級※)	10校 (50学級)	9校 (55学級※)	7校 (49学級)	5校 (40学級)	52校 (258学級※)	

※伊賀白鳳高校は、240人定員、7学級で募集

※尾鷲高校は、160人定員、5学級で募集

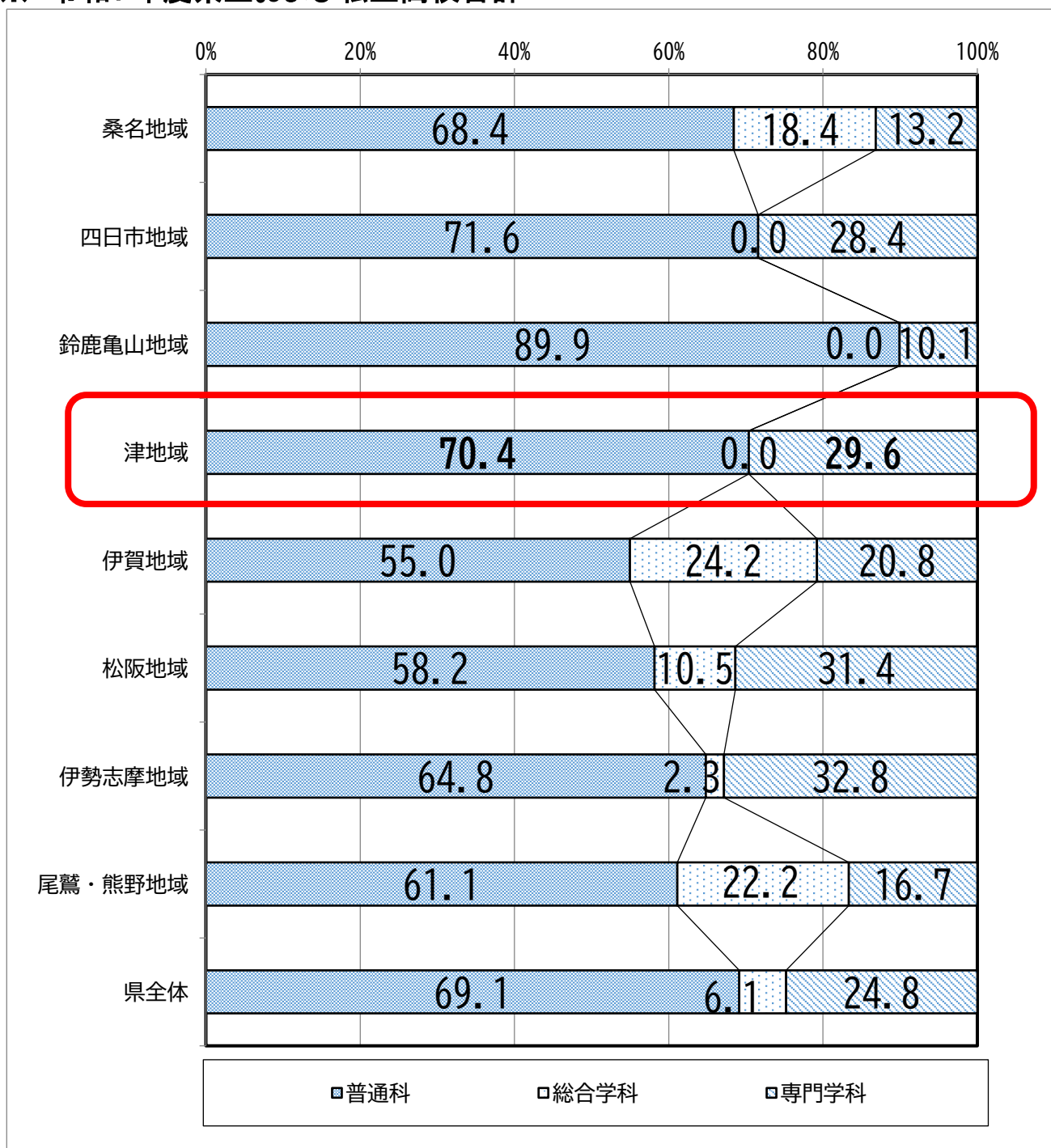
※熊野青藍高校を新設(木本校舎:普通科3学級+総合学科1学級、紀南校舎:総合学科3学級+普通科1学級)と紀南高校(普通科2学級)は募集停止

※△:前年度比増、▲:前年度比減

# 各地域の学科別募集定員の割合(県立私立全日制)

資料6

※ 令和7年度県立および私立高校合計



## 県立高校（全日制）の専門学科の配置状況

## 1 普通科、専門教育を主とする学科、総合学科の定員

	定員			普通科	専門教育を主とする学科									総合学科
	県立	私立	計		農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	計	
桑名・四日市	3,720	1,180	4,900	3,460	120	640	240		80	40		40	1,160	280
鈴亀	1,120	470	1,590	1,430					80		80		160	
津	1,880	685	2,565	1,805	160	240	280		80				760	
伊賀	1,000	155	1,155	635	70	105	30					35	240	280
松阪	1,000	530	1,530	890	80	200	160		40				480	160
伊勢志摩	1,160	545	1,705	1,105	80	160	160	80	40			40	560	40
東紀州	360		360	220		30	30						60	80
県全体	10,240	3,565	13,805	9,545	510	1,375	900	80	320	40	80	115	3,420	840

※普通科には普通科系専門学科を含む

## 2 普通科、専門教育を主とする学科、総合学科の定員の割合（公立私立あわせた定員）

	普通科	専門教育を主とする学科									総合学科
		農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	計	
桑名・四日市	70.6%	2.4%	13.1%	4.9%		1.6%	0.8%		0.8%	23.7%	5.7%
鈴亀	89.9%					5.0%		5.0%		10.1%	
津	70.4%	6.2%	9.4%	10.9%		3.1%				29.6%	
伊賀	55.0%	6.1%	9.1%	2.6%					3.0%	20.8%	24.2%
松阪	58.2%	5.2%	13.1%	10.5%		2.6%				31.4%	10.5%
伊勢志摩	64.8%	4.7%	9.4%	9.4%	4.7%	2.3%			2.3%	32.8%	2.3%
東紀州	61.1%		8.3%	8.3%						16.7%	22.2%
県全体	69.1%	3.7%	10.0%	6.5%	0.6%	2.3%	0.3%	0.6%	0.8%	24.8%	6.1%

## 3 農業に関する学科の配置状況

	学校	総定員	農業に関する学科							
			農業	食品科学	農業土木	造園	林業	農業経済	その他	
桑名・四日市	四日市農芸	120	40	40		40				
鈴亀										
津	久居農林	160	40		40		40		40	
伊賀	伊賀白鳳	70		35						35
松阪	相可	80			40				40	
伊勢志摩	明野	80	40	40						
東紀州										
県全体		510	120	115	80	40	40	40	75	

## 4 工業に関する学科の配置状況

	学校	総定員	工業に関する学科												
			機械	自動車	電気	電子	建築	設備工業	土木	化学工業	化学工学	電子機械	材料技術	セラミック	繊維
桑名・四日市	桑工、四工、四中工	640	120	40	120	80	40	40	40		40	40	40	40	
鈴亀															
津	津工業	240	120		40	40	40								
伊賀	伊賀白鳳	105	35					35					35		
松阪	松阪工業	200	40	40	40					40					40
伊勢志摩	伊勢工業	160	80		40			40							
東紀州	尾鷲	30	15		15										
県全体		1,375	410	80	255	120	155	40	40	40	40	75	40	40	40

## 5 商業、家庭、福祉に関する学科の配置状況

	学校	総定員	商業に関する学科			学校	総定員	家庭に関する学科		学校	総定員	福祉に関する学科
			商業	国際経済	情報処理			家政	食物			
桑名・四日市	四日市商業	240	200		40	四日市農芸	80	80	朝明	40	40	
鈴亀						白子、亀山	80	80				
津	津商業、白山	280	200		80	久居農林	80	80				
伊賀	伊賀白鳳	30	30						伊賀白鳳	35	35	
松阪	松阪商業	160	120	40		相可	40	40				
伊勢志摩	宇治山田商業	160	80	40	40	明野	40	40	明野	40	40	
東紀州	尾鷲	30	15		15							
県全体		900	645	80	175		320	280	40	115	115	

※農業等の分類は学校基本調査をもとに、実情に合わせて整理した

## 津地域の中学校卒業生進路先の推移と各学校における地域内中学校卒業生数の割合

卒業年	卒業生数	津地域(全日制)											合計
		県立									私立		
		津	津西	津商業	津東	津工業	久居	久居農林	白山	計	高田	セントヨゼフ	
R6.3卒	2,636	222	198	111	175	115	152	154	41	1,168	445	73	1,686
	100%	8.4%	7.5%	4.2%	6.6%	4.4%	5.8%	5.8%	1.6%	44.3%	16.9%	2.8%	64.0%
	地域内 中学卒	69.4%	61.9%	46.3%	62.5%	47.7%	75.2%	64.2%	51.3%		77.0%	90.1%	
R5.3卒	2,655	218	225	112	192	112	158	150	31	1,198	477	68	1,743
	100%	8.2%	8.5%	4.2%	7.2%	4.2%	6.0%	5.6%	1.2%	45.1%	18.0%	2.6%	65.6%
	地域内 中学卒	68.1%	70.3%	46.7%	68.6%	47.5%	79.0%	63.0%	41.3%		77.2%	93.2%	

卒業年	津地域外(全日制)							定時制・通信制				合計	
	県立				県内 私立・ 高専	県外	県内		県外		その他		
	鈴鹿亀山 地域	伊賀 地域	松阪 地域	その他 地域			定時制	通信制	定時制	通信制			
R6.3卒	162	19	72	104	227	37	621	82	110	0	88	49	329
	6.1%	0.7%	2.7%	3.9%	8.6%	1.4%	23.6%	3.1%	4.2%	0.0%	3.3%	1.9%	12.5%
R5.3卒	126	24	91	97	226	49	613	73	91	1	91	43	299
	4.7%	0.9%	3.4%	3.7%	8.5%	1.8%	23.3%	2.7%	3.4%	0.0%	3.4%	1.6%	11.3%

## 【 R 6 . 3 中学校卒業生（現高 1）の津地域全日制高校以外への進路先】

## \* 津地域外（全日制） 合計621人

- ・ 鈴鹿亀山地域県立 (162人) 白子 (51)、飯野 (31)、亀山 (35)、神戸 (27)、稲生 (13)、石薬師 (5)
- ・ 伊賀地域県立 (19人) 名張 (6)、名張青峰 (10)、あけぼの (2)、伊賀白鳳 (1)
- ・ 松阪地域県立 (72人) 松阪 (43)、松阪工業 (11)、松阪商業 (11)、相可 (4)、昴学園 (3)
- ・ その他地域県立 (104人) 四日市 (47)、四日市工業 (11)、四日市南 (4)、四日市西 (2)、四日市商業 (5)、桑名 (4)、桑名北 (1)、四日市中央工業 (4)、四日市農芸 (1)、菰野 (4)、川越 (1)、明野 (1)、宇治山田 (1)、伊勢 (2)、宇治山田商業 (11)、伊勢工 (2)、水産 (3)
- ・ 県内私立・高専 (227人) 鈴鹿 (62)、三重 (37)、鈴鹿高専 (38)、近大高専 (10)、海星 (25)、皇学館 (21)、伊勢学園 (22)、鳥羽商船 (5)、暁 (3)、四日市メリノール学院 (4)
- ・ 県外 (37人) 県外国公立全日制 (5)、県外私立全日制 (31)、県外高専 (1)

## \* 定時制・通信制・その他 合計329人

- ・ 県内定時制 (82人) みえ夢学園 (71)、松阪工業 (3)、伊勢まなび (8)
- ・ 県内通信制 (110人) 大橋学園 (33)、一志学園 (16)、英心 (14)、徳風 (19)、松阪 (23)、北星 (4)、英心桔梗が丘校 (1)
- ・ 県外定時制 (0人) 県外定時制 (0)
- ・ 県外通信制 (88人) 県外通信制 (88)
- ・ その他 (49人) 海外進学・就職・その他 (31)、特別支援学校 (18)

## 資料9①

(R6第1回協議会 資料9 再掲)

## 津地域の県立高校卒業生(全日制)の進路状況(令和6年3月卒)

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業者数
津	普通	236	3	4	1	64	308
		76.6%	1.0%	1.3%	0.3%	20.8%	100.0%
津西	普通 国際科学	275	3	4	1	23	306
		89.9%	1.0%	1.3%	0.3%	7.5%	100.0%
津商業	商業	63	21	62	90	2	238
		26.5%	8.8%	26.1%	37.8%	0.8%	100.0%
津東	普通	220	18	17	1	12	268
		82.1%	6.7%	6.3%	0.4%	4.5%	100.0%
津工業	工業	37	0	19	176	2	234
		15.8%	0.0%	8.1%	75.2%	0.9%	100.0%
久居	普通	59	16	55	49	9	188
		31.4%	8.5%	29.3%	26.1%	4.8%	100.0%
久居農林	農業 家庭	12	9	64	132	7	224
		5.4%	4.0%	28.6%	58.9%	3.1%	100.0%
白山	普通	5	3	9	36	1	54
		9.3%	5.6%	16.7%	66.7%	1.9%	100.0%
	情報 コミュニケーション	0	5	0	15	0	20
		0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	100.0%
普通科計 (普通科系専門学科含む)		795	43	89	88	109	1124
		70.7%	3.8%	7.9%	7.8%	9.7%	100.0%
専門学科計 (職業系専門学科)		112	35	145	413	11	716
		15.6%	4.9%	20.3%	57.7%	1.5%	100.0%
合計		907	78	234	501	120	1,840
		49.3%	4.2%	12.7%	27.2%	6.5%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業者数に対する割合を表す

※「四年制大学」は大学校を含む

※「短大」は高専を含む

※「その他」は進学待機を含む

## 資料9②

(R6第1回協議会 資料9 再掲)

## 津地域の県立高校卒業生(全日制)の進路状況(令和5年3月卒)

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業者数
津	普通	263	3	2	0	49	317
		83.0%	0.9%	0.6%	0.0%	15.5%	100.0%
津西	普通 国際科学	290	8	2	1	14	315
		92.1%	2.5%	0.6%	0.3%	4.4%	100.0%
津商業	商業	68	24	69	110	4	275
		24.7%	8.7%	25.1%	40.0%	1.5%	100.0%
津東	普通	261	14	26	1	8	310
		84.2%	4.5%	8.4%	0.3%	2.6%	100.0%
津工業	工業	32	2	27	167	1	229
		14.0%	0.9%	11.8%	72.9%	0.4%	100.0%
久居	普通	67	25	85	41	6	224
		29.9%	11.2%	37.9%	18.3%	2.7%	100.0%
久居農林	農業 家庭	12	14	62	128	6	222
		5.4%	6.3%	27.9%	57.7%	2.7%	100.0%
白山	普通	5	8	12	29	0	54
		9.3%	14.8%	22.2%	53.7%	0.0%	100.0%
	情報 コミュニケーション	1	0	5	14	0	20
		5.0%	0.0%	25.0%	70.0%	0.0%	100.0%
普通科計 (普通科系専門学科含む)		886	58	127	72	77	1220
		72.6%	4.8%	10.4%	5.9%	6.3%	100.0%
専門学科計 (職業系専門学科)		113	40	163	419	11	746
		15.1%	5.4%	21.8%	56.2%	1.5%	100.0%
合計		999	98	290	491	88	1,966
		50.8%	5.0%	14.8%	25.0%	4.5%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業者数に対する割合を表す

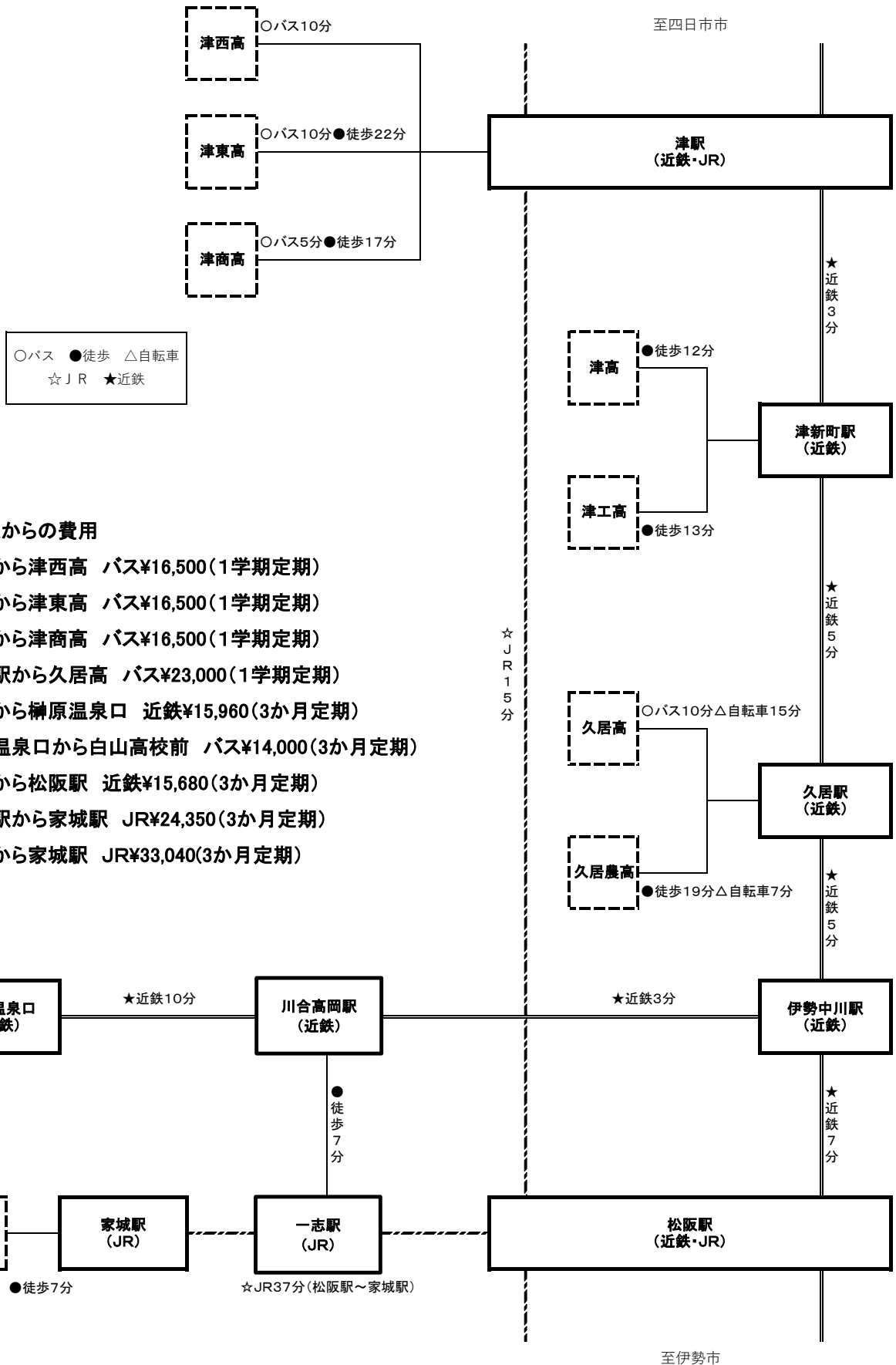
※「四年制大学」は大学校を含む

※「短大」は高専を含む

※「その他」は進学待機を含む

津地域の県立高等学校(全日制)への交通手段等

(1)交通手段・費用・時間





## (2)通学方法別生徒数と割合

R6. 5. 1 学校基本調査より

		津	津西	津東	津工業	津商業	久居	久居農林	白山	合計	
徒歩のみ		53	20	67	19	21	8	29	17	234	
		5.5%	2.1%	8.1%	2.8%	2.9%	1.4%	4.2%	7.8%	4.2%	
自転車のみ		228	223	183	166	92	366	298	7	1,563	
		23.9%	23.8%	22.2%	24.2%	12.8%	62.0%	42.8%	3.2%	27.8%	
JRのみ		0	0	62	27	62	0	4	43	198	
		0.0%	0.0%	7.5%	3.9%	8.7%	0.0%	0.6%	19.7%	3.5%	
私鉄のみ		309	0	160	131	259	2	104	2	967	
		32.4%	0.0%	19.4%	19.1%	36.2%	0.3%	14.9%	0.9%	17.2%	
バスのみ		15	50	35	7	30	6	12	1	156	
		1.6%	5.3%	4.3%	1.0%	4.2%	1.0%	1.7%	0.5%	2.8%	
JRと	私鉄		33	0	2	12	15	2	21	10	95
			3.5%	0.0%	0.2%	1.7%	2.1%	0.3%	3.0%	4.6%	1.7%
	バス		0	87	9	0	5	2	2	3	108
			0.0%	9.3%	1.1%	0.0%	0.7%	0.3%	0.3%	1.4%	1.9%
	自転車		0	40	69	37	40	5	45	80	316
			0.0%	4.3%	8.4%	5.4%	5.6%	0.8%	6.5%	36.7%	5.6%
私鉄と	バス		49	304	29	16	17	17	8	14	454
			5.1%	32.4%	3.5%	2.3%	2.4%	2.9%	1.1%	6.4%	8.1%
	船		0	0	0	2	0	0	0	0	2
			0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自転車		221	145	177	246	160	151	150	3	1,253
			23.1%	15.5%	21.5%	35.8%	22.3%	25.6%	21.6%	1.4%	22.3%
バスと自転車		6	16	10	7	6	8	2	1	56	
		0.6%	1.7%	1.2%	1.0%	0.8%	1.4%	0.3%	0.5%	1.0%	
その他		41	53	20	17	9	23	21	37	221	
		4.3%	5.7%	2.4%	2.5%	1.3%	3.9%	3.0%	17.0%	3.9%	
合計		955	938	823	687	716	590	696	218	5,623	

## (3) 通学費用別生徒数と割合

R6. 5. 1 学校基本調査より

	津	津西	津東	津工業	津商業	久居	久居農林	白山	合計	積み上げ
不要	290	268	277	190	119	391	339	38	1,912	1,912
	30.4%	28.6%	33.7%	27.7%	16.6%	66.3%	48.7%	17.4%	34.0%	34.0%
3000円以内	104	8	73	53	33	27	23	12	333	2,245
	10.9%	0.9%	8.9%	7.7%	4.6%	4.6%	3.3%	5.5%	5.9%	39.9%
5000円以内	258	168	208	224	305	83	210	31	1,487	3,732
	27.0%	17.9%	25.3%	32.6%	42.6%	14.1%	30.2%	14.2%	26.4%	66.4%
7000円以内	174	164	111	151	164	36	57	33	890	4,622
	18.2%	17.5%	13.5%	22.0%	22.9%	6.1%	8.2%	15.1%	15.8%	82.2%
9000円以内	31	178	43	27	32	26	37	51	425	5,047
	3.2%	19.0%	5.2%	3.9%	4.5%	4.4%	5.3%	23.4%	7.6%	89.8%
11000円以内	52	82	38	19	19	14	7	27	258	5,305
	5.4%	8.7%	4.6%	2.8%	2.7%	2.4%	1.0%	12.4%	4.6%	94.3%
13000円以内	21	28	27	10	24	10	9	4	133	5,438
	2.2%	3.0%	3.3%	1.5%	3.4%	1.7%	1.3%	1.8%	2.4%	96.7%
15000円以内	11	16	18	6	6	2	2	6	67	5,505
	1.2%	1.7%	2.2%	0.9%	0.8%	0.3%	0.3%	2.8%	1.2%	97.9%
15001円以上	14	26	28	7	14	1	12	16	118	5,623
	1.5%	2.8%	3.4%	1.0%	2.0%	0.2%	1.7%	7.3%	2.1%	100.0%
合計	955	938	823	687	716	590	696	218	5,623	5,623

※通学費用は1か月あたりの費用

## (4) 通学時間別生徒数と割合

R6. 5. 1 学校基本調査より

	津	津西	津東	津工業	津商業	久居	久居農林	白山	合計	積み上げ
15分以内	119	107	68	79	43	67	97	28	608	608
	12.5%	11.4%	8.3%	11.5%	6.0%	11.4%	13.9%	12.8%	10.8%	10.8%
30分以内	254	149	145	137	101	183	182	27	1,178	1,786
	26.6%	15.9%	17.6%	19.9%	14.1%	31.0%	26.1%	12.4%	20.9%	31.8%
45分以内	209	206	161	159	192	188	158	39	1,312	3,098
	21.9%	22.0%	19.6%	23.1%	26.8%	31.9%	22.7%	17.9%	23.3%	55.1%
60分以内	217	263	287	234	280	122	182	58	1,643	4,741
	22.7%	28.0%	34.9%	34.1%	39.1%	20.7%	26.1%	26.6%	29.2%	84.3%
90分以内	130	188	143	71	91	27	68	44	762	5,503
	13.6%	20.0%	17.4%	10.3%	12.7%	4.6%	9.8%	20.2%	13.6%	97.9%
120分以内	25	21	14	6	7	2	7	15	97	5,600
	2.6%	2.2%	1.7%	0.9%	1.0%	0.3%	1.0%	6.9%	1.7%	99.6%
121分以上	1	4	5	1	2	1	2	7	23	5,623
	0.1%	0.4%	0.6%	0.1%	0.3%	0.2%	0.3%	3.2%	0.4%	100.0%
合計	955	938	823	687	716	590	696	218	5,623	100%

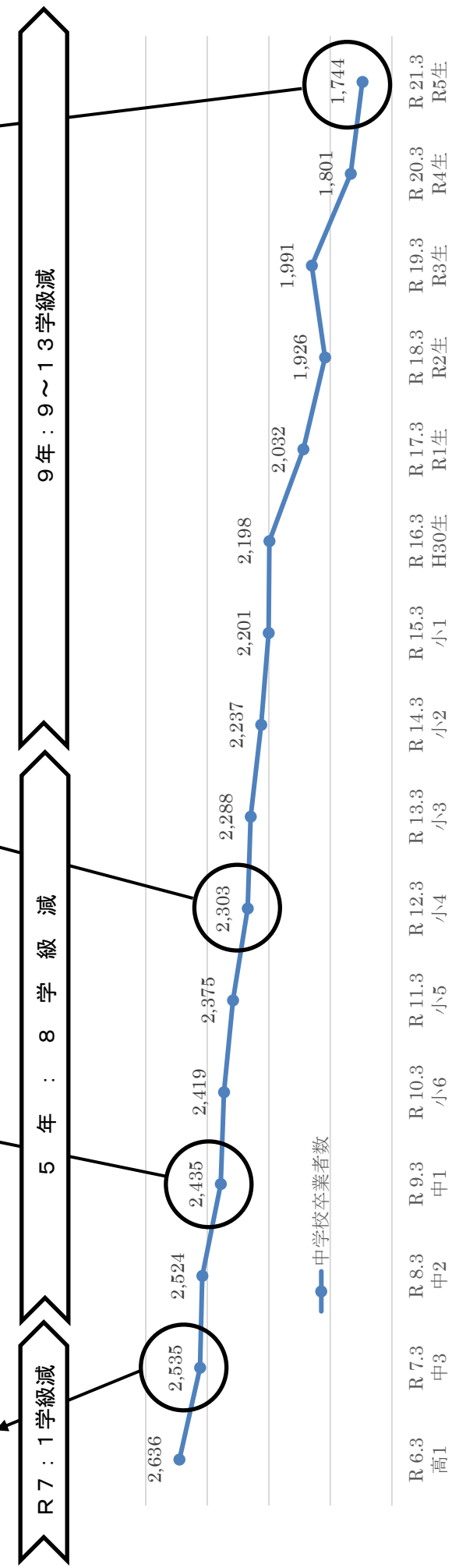
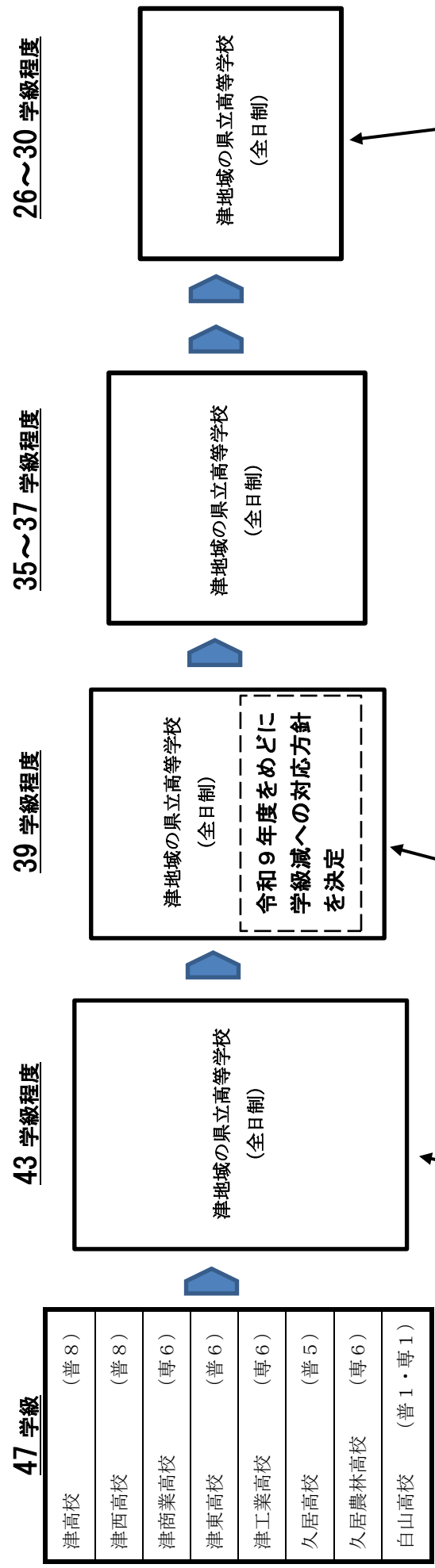
※通学時間は片道の所要時間

# 令和21年度までの津地域の県立高等学校（全日制）の総学級数について

資料 1 1

(R6第1回 資料11再掲)

<b>令和7年度(現中3)</b> 地域の中学校卒業予定者数 <b>2,535人 (R6年度比▲101)</b>	<b>令和9年度(現中1)</b> 地域の中学校卒業予定者数 <b>2,435人 (R6年度比▲201)</b>	<b>令和12年度(現小4)</b> 地域の中学校卒業予定者数 <b>2,303人 (R6年度比▲333)</b>	<b>令和15年度(現小1)</b> 地域の中学校卒業予定者数 <b>2,201人 (R6年度比▲435)</b>	<b>令和21年度</b> 地域の中学校卒業予定者数 <b>1,744人 (R6年度比▲892)</b>
--	--	---	---	--



## 上野高校の探究的な学びについて

### 1 取組の概要

- ・「普通科」において「理数科」とは異なる特色・魅力をうち出せるよう、また、生徒が学ぶ意欲や学問分野への興味・関心等を高め、主体的に学習に取り組めるよう、国の普通科改革に伴う学校教育法施行規則等の一部改正を受け、令和4年度から国の「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」に取り組んでいます。
- ・当事業では、大学卒業後とその先を見据え自ら課題を発見・解決できる人材を育成するため、関係機関と連携協力・調整を行うコーディネーターや外部機関等と連携し、データサイエンスや STEAM の要素を取り入れた学校設定科目を開発し、探究学習の充実に取り組んでいます。
- ・文系と理系が融合した学際融合的なカリキュラムとし、生徒が多様な分野の学びに接することができるようにするため、学年制から単位制へ変更します。
- ・令和7年度から学科の名称を以下のように変更します。  
（旧）「普通科」→（新）「学際探究科」

### 2 新学科「学際探究科」の目標

- ・「伊賀を想い、世界を見据え、社会の課題に挑戦し続ける人材」の育成を目的とし、生徒が「変化の激しい時代を生き抜く力」と、「進路を実現できる力」を身につけられる教育課程の編成により、学習活動を展開します。

### 3 特色ある学習活動

#### （1）大学および卒業後を見据えた学修の基盤となる学力の習得

- ・「学際融合型カリキュラム」により、2年次まで全員が国語・数学・英語を共通で学習し、3年次から進路に応じた科目を選択し学習します。

#### （2）コンソーシアム（大学や企業、近隣小中学校等）の構築

- ・大学や企業による講師派遣や体験活動の受入等の協力、探究学習への大学生メンター派遣、グローバル企業等での見学や実習、行政のオープンデータを活用した課題解決型学習、STEAM 学習における講師派遣等を実施します。
- ・学際探究科の生徒による小・中学校への出前授業等を実施します。

#### （3）「UQ (Ueno Quest)」「みらい探究」(科目名)を柱とした探究プログラムの充実

- ・1年次、探究の基礎的スキルの学習やデータサイエンス等を活用したミニ探究学習を行います。

- ・ 2年次、STEAM 学習に取り組み、課題解決の手法について学ぶとともに、各自が設定したテーマで探究を行います。
- ・ 3年次、課題研究の総仕上げとしてのレポート等を作成します。
- ・ 長期休業中等、大学や企業等と連携した集中的な課外授業やセミナーを行います。

#### (4) 国内外のフィールドワーク

- ・ 「世界を知って、日本・伊賀の良さを知る」ため、修学旅行の行先を海外とし、SSH 海外研修や民間企業のプログラムを活用しオンライン海外交流も行います。
- ・ 1年次に宿泊を伴う探究合宿を行います。合宿での探究テーマ等も個人で計画するなど、企画から立案、調査等のスモール探究学習を行います。
- ・ 国内外の高校生等と探究交流を行い、SDGs 等を共通テーマとして、グローバルな視野で物事を考える学習を行います。
- ・ 地元企業や卒業生が働いている企業等を訪問し、働くことや、学ぶことについて考え、多くの大人から刺激を得る学習機会を増やします。

## 川越高校の探究的な学びについて

### 1 取組の概要

- ・今年度から文部科学省「DX ハイスクール」（高等学校 DX 加速化推進事業）に指定されたことを受け、ICT を活用した教科横断的な探究プログラムに取り組んでいます。
- ・国の普通科改革に伴う学校教育法施行規則等改正の主旨を受け、探究的な学習を学習の中心に据え、「総合的な探究の時間」や各教科・科目で探究的な学習の充実が図られるよう、令和 7 年度から教育課程を再編します。
- ・また、令和 7 年度から学科の名称を以下のように変更します。  
 (旧)「普通科」→(新)「探究科」      (旧)「国際文理科」→(新)「国際探究科」

### 2 新学科「探究科」及び「国際探究科」の目標

- ・両学科において、社会課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる人材を育成するため、「知的好奇心を持ち、知識を身につける力」、「情報を収集し、分析する力」、「物事を論理的に考える力」、「傾聴・発信・協働する力」を身に付けられるよう、学校独自の「探究プログラム」に取り組めます。
- ・また、国際探究科では、上記に加え、グローバルリーダーとなる人材を育成するため、国際的な視野や国際感覚、コミュニケーション能力を身に付けられるよう、国内外の社会課題の解決に向けた「探究プログラム」に取り組めます。

### 3 特色ある学習活動

(1) 系統的な「探究プログラム」の構築（両科共通）以下の①と②の科目により構成

科目名	1 年	2 年	3 年	合計
① 探究発展 I～III	1 単位	1 単位	1 単位	8 単位
② 総合的な探究の時間	2 単位	2 単位	1 単位	

#### ①「探究発展 I～III」 新設

- ・学年の枠を越えた縦割りグループを編成し、探究的な学習に必要なスキルを学ぶ（データサイエンス、フィールドワーク、ミニ探究）

#### ②「総合的な探究の時間」 継続

- ・授業時間数を増加（合計 3 単位→5 単位へ）
- ・国内外の社会課題の解決に取り組むもの

#### (2) 大学等の専門機関との連携（両科共通）

- ・大学や行政機関等と連携し、有識者を講師として招聘したり、個々の探究課題に応じたフィールドワーク等を実施したりすることで、より専門性の高い探究活動に取り組めます。

### (3) デジタル技術の活用（両科共通）

- ・国の DX ハイスクール事業を活用し、高機能パソコンや大型モニター等のデジタル機器を配置した「探究ラボルーム」を整備し、生徒の探究活動や、各教科・科目における探究的な学習の充実を図ります。

### (4) 国際探究科での取組

- ・これまでの専門教科「理数」での学びに加え、学校設定科目「データサイエンス」を新設し、統計学の手法を取り入れ、データを利活用しながら実社会における課題解決に取り組みます。
- ・少人数制の英語プレゼンテーションスピーチ、若手外国人研究者等の各界の第一人者による英語特別講義など、特色ある英語教育プログラムをさらに充実・発展させます。
- ・海外大学において英語で講義を受け、英語でプレゼンテーションを行ったり、海外の日本企業を訪問したりする「海外スタディツアー」を実施します。

## 地域の中中学生・保護者を対象としたアンケート調査の実施について

- 調査主体：津地域高等学校活性化推進協議会
- 調査形態
  - 中学生：一人一台端末でLoGoフォームを活用した生徒アンケートを実施
  - 保護者：市町教委から中学校、生徒を通じてアンケートの依頼を配付  
Webによる回答か、紙媒体による回答
- 調査対象者
  - 中学生：津地域の公立中学校に在籍する2年生(約2,500人)の生徒
  - 保護者：津地域の公立中学校に在籍する2年生(約2,500人)の保護者  
津地域の公立小学校に在籍する5年生(約2,400人)の保護者
- 調査期間：令和7年9月頃

### 参考：

#### (1) 令和6年度 伊賀地域の中中学生・保護者を対象としたアンケート調査

- 調査主体：伊賀地域高等学校活性化推進協議会
- 調査形態：
  - 中学生：一人一台端末のC B Tシステム利用による生徒アンケートを実施
  - 保護者：市町教委から中学校、生徒を通じて紙媒体アンケートを配付  
Webによる回答か、紙媒体による回答
- 調査対象者
  - 中学生：伊賀地域の公立中学2年生全員（伊賀市・名張市）
  - 保護者：同上の保護者、伊賀地域の公立小学校に在籍する5年生の保護者
- 調査期間：令和6年9月中旬～10月25日（金）
- 回答者数
  - 中学生：1,076人／1,307人（回収率約82.3%）
  - 保護者：1,096人／2,604人（回収率約42.1%）
- 多言語対応：ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・ビザイヤ語

#### (2) 松阪・鈴亀地域の中中学生を対象としたアンケート調査 独自質問（抽出）



# 高校や将来に関するアンケート《質問用紙》

伊賀地域の公立中学校2年生のみなさんへ

○ 二次元コードを読み取り、Webアンケートに回答してください。

伊賀地域高等学校活性化推進協議会



Web アンケート

- 1 右枠内のIDを書いてください。
 

ID: IS01001
PW: d1ph
- 2 右枠内のPWを書いてください。
- 3 あなたは、どこに住んでいますか。次の中から1つ選んでください。
 

① 伊賀市 ② 名張市
- 4 あなたの学校の中学2年生は、全体で何人ですか。次の中から1つ選んでください。
 

① 20人以下 ② 21～40人 ③ 41～80人 ④ 81～120人  
 ⑤ 121～160人 ⑥ 161～240人 ⑦ 241人以上
- 5 あなたは、中学校卒業後どのような進路を希望しますか。
 

① 高校等へ進学（質問6以降へ） ② 就職・その他（質問12以降へ）
- 6 あなたは、高校を選ぶとき何を重視しますか。次の中から6つ以内で選んでください。
 

① 学びたい学科やコースがある ② 確かな学力を身につける授業が充実している  
 ③ 専門的な知識や技能、資格が習得できる  
 ④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できる  
 ⑤ 地域と連携した活動が充実している  
 ⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している  
 ⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われている  
 ⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会い  
 ⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できる  
 ⑩ 通学のしやすさ・距離 ⑪ 学校の雰囲気・イメージ ⑫ 施設・設備の充実  
 ⑬ 進学・就職の実績 ⑭ 自分の適性や能力  
 ⑮ 先生や保護者、友だち等の周囲の人の意見 ⑯ 学費などの経費負担  
 ⑰ その他（質問7の自由記述へ）
- 7 質問6で「⑰ その他」を選んだ人は、重視する点を書いてください。

8 あなたは、入学する高校にどのような教育を期待しますか。次の中から5つ以内で選んでください。

- ① 自ら学び続ける力が身につく教育
- ② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育
- ③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育
- ④ 地域を題材として学ぶ教育
- ⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育
- ⑥ 人権に対する意識が高まる教育
- ⑦ 基本的な知識が身につく教育
- ⑧ ICTを積極的に活用する教育
- ⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育
- ⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
- ⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
- ⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育
- ⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育
- ⑭ その他（質問9の自由記述へ）

9 質問8で「⑭ その他」を選んだ人は、期待することを書いてください。

10 あなたは、1学年あたりどのくらいの学級数（人数）の高校に入学したいですか。質問6の「高校を選ぶときに重視する点」と質問8の「高校に期待する教育」の回答もふまえ、次の中から1つ選んでください。※高校の学級は、1学級40人を基本としています。

- ① 1学級（40人）
- ② 2学級～3学級（80～120人）
- ③ 4学級～6学級（160～240人）
- ④ 7学級以上（280人～）

11 あなたは、希望する高校への通学には、片道どの程度の時間までかけることができますか。次の中から1つ選んでください。

- ① 30分以内まで
- ② 60分以内まで
- ③ 90分以内まで
- ④ 120分以内まで
- ⑤ 121分以上

12 将来、あなたはどこで生活したり、働いたりしたいですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 地元（現在住んでいる市町）
- ② 地元以外の伊賀地域
- ③ 伊賀地域以外の三重県内
- ④ 県外
- ⑤ 海外
- ⑥ 一度は地元を離れても、いつかは戻りたい
- ⑦ まだ決まっていない、わからない

13 「高校や将来に関するアンケート」の内容に関して、考えや思いがあれば、書いてください。

松阪・鈴亀地域の中学生アンケート調査 独自質問（抽出）

○松阪地域独自質問

- 12 将来、あなたはどんな仕事に就きたいですか。次の中から3つ以内で選んでください。
- |                                |                          |
|--------------------------------|--------------------------|
| ① 農林水産業・鉱業関係                   | ② 建設業関係（建築、土木など）         |
| ③ 製造業（工業）関係                    | ④ マスコミ関係（新聞、テレビ・ラジオ制作など） |
| ⑤ 交通（鉄道、バス、航空）・運輸、郵便関係         | ⑥ 卸売・販売関係                |
| ⑦ 金融関係（銀行、保険など）                | ⑧ 不動産業・物品賃貸業             |
| ⑨ 宿泊業・飲食サービス業                  | ⑩ 理容、美容関係                |
| ⑪ 幼稚園の先生、保育士                   | ⑫ 小中学校・高校・大学などの先生、塾の講師   |
| ⑬ 警察関係、消防関係                    | ⑭ 医師、看護師、薬剤師など           |
| ⑮ 介護・福祉関係                      | ⑯ 自動車整備、機械修理業            |
| ⑰ 政治家                          |                          |
| ⑱ 検察官、裁判官、弁護士                  | ⑲ 音楽・芸能関係（歌手、俳優、ダンサーなど）  |
| ⑳ 健康・スポーツ関係（インストラクター、選手・指導者など） |                          |
| ㉑ 公務員（国・県・市町の職員）               | ㉒ まだ決まっていない、わからない        |
| ㉓ その他（質問13の自由記述へ）              |                          |

- 13 質問12で「㉓ その他」を選んだ人は、仕事の内容を書いてください。

○鈴亀地域独自質問

- 13 あなたは、鈴鹿山地域にどのような高校があれば通いたいと思いますか。自由に書いてください。

# 「伊賀地域の県立高校に関するアンケート」について

伊賀地域の公立中学校2年生・公立小学校5年生の保護者のみなさんへ

令和6年9月 伊賀地域高等学校活性化推進協議会

本協議会では、当地域の県立高校の活性化について協議しており、その中で地域の生徒・保護者の方の意見を参考に協議を進めたいと考えています。つきましては、以下の資料を参照のうえ、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。（当地域の公立中学校2年生を対象に、別途、アンケートを実施しています。）

## 【資料】

○グローバル化やデジタル化などの社会の大きな変化、少子・高齢化のさらなる進行、教育的ニーズの多様化が進む中、令和4年3月に策定した「県立高等学校活性化計画」では、これからの子どもたちにとって魅力ある県立高等学校のあり方や活性化について検討し、実現していくこととしています。

○その中で、15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえると、これからの時代に求められる学びを提供していくには、現在の県立高校の配置を続けていくことは難しい状況であるため、各地域の活性化協議会において、高等学校の学びと配置のあり方についての検討を丁寧に進めるとしており、伊賀地域においては、本協議会で検討を進めています。

○令和6年度の伊賀地域の全日制県立高校1年生の総学級数（定員）は、5校で25学級規模1,000人となっています。

- ・上野（6学級240人）
- ・あけぼの学園（2学級80人）
- ・伊賀白鳳（6学級規模240人）
- ・名張（5学級200人）
- ・名張青峰（6学級240人）

※伊賀白鳳高校は、6学級規模（240人）で、30人・35人学級により7学級で展開しています。

○令和6年3月から21年3月までの中学校卒業生数の予測や地域での出生数をもとに、進路状況や他地域との流入などを考慮して学級数を予測すると、15年先の令和21年度にはおよそ11～13学級となり、令和6年度の25学級規模と比べて13～15学級減少することが見込まれます。

	令和6年3月	令和10年3月	令和21年3月
中学校卒業生数	1,408人	1,321人	761人
総学級数	25学級規模	22学級程度	11～13学級程度

※中学校卒業生数：令和10年は予測値、令和21年は地域の出生数

（参考）これまでの協議会の概要や配付資料については、下記のHPをご覧ください。

R5第1回協議会  
(R5. 7. 25)



R5第2回協議会  
(R5. 10. 30)




R5第3回協議会  
(R6. 2. 26)



R6第1回協議会  
(R6. 8. 8)



## アンケートの実施について

- **調査対象**  
・伊賀地域（伊賀市・名張市）の公立中学校2年生の保護者及び公立小学校5年生の保護者  
※両方の学年にお子さんがいる場合や、同じ学年に複数のお子さんがいる場合は、1つの回答としてください。
- **調査方法**  
・Webアンケート（「LoGo（ロゴ）フォーム〈県の電子申請・届出システム〉」）により回答。  
※Webアンケートにより回答した場合は、回答用紙の提出は不要です。  
※Webアンケートによる回答がむずかしい場合は、回答用紙に記入してください。  
・パソコン、スマートフォンなどから下記のアドレスへアクセスするか、「二次元コード」を読み取り、Webアンケートに回答してください。
  - アドレス <https://logoform.jp/f/u84oY>
  - 「二次元コード」  

- **所要時間（目安）**  
・8分程度
- **Webアンケートによる回答・回答用紙の提出期限**  
・令和6年10月7日（月曜日）まで  
※回答用紙を利用する場合は、在籍する小中学校へ提出してください。
- **注意点**  
・Webアンケートの回答送信後の修正はできません。回答内容をよくご確認の上、送信してください。
- **その他**  
・ご協力いただきました調査データは調査目的以外には使用いたしません。  
・当アンケートにかかるご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。  
(事務担当) 三重県教育委員会事務局 教育政策課 059-224-2951（平日9:00～17:00）

※「LoGo フォーム」は、提供元サービスの名称です。

い が ち い き けんりつこうこう かん しつもんようし  
伊賀地域の県立高校に関するアンケート 《質問用紙》

- 二次元コードを読み取り、Webアンケートに回答してください。  
○ Webアンケートによる回答がむずかしい場合は、回答用紙をご利用ください。



Web アンケート

1 右枠内のIDをお書きください。

ID:IP30020

2 右枠内のPWをお書きください。

PW:q006

3 現在の居住地はどこですか。

- ① 伊賀市 ② 名張市

4 あなたのお子さんはどちらの学年ですか。※両方の場合は、2つ選んでください。

- ① 中学2年生 ② 小学5年生

5 あなたのお子さんが所属する学年は全体で何人ですか。次の中から1つ選んでください。

※両方の学年にいる場合は、上の学年でお答えください。

- ① 20人以下 ② 21～40人 ③ 41～80人 ④ 81～120人  
⑤ 121～160人 ⑥ 161～240人 ⑦ 241人以上

6 お子さんが高校を選ぶときには、何を重視してもらいたいですか。次の中から6つ以内で選んでください。

- ① 学びたい学科やコースがあること  
② 確かな学力を身につける授業が充実していること  
③ 専門的な知識や技能、資格が習得できること  
④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できること  
⑤ 地域と連携した活動が充実していること  
⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実していること  
⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われていること  
⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会いがあること  
⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できること  
⑩ 通学のしやすさ・距離 ⑪ 学校の雰囲気・イメージ  
⑫ 施設・設備の充実 ⑬ 進学・就職の実績  
⑭ 自分の適性や能力 ⑮ あなたや先生、友だち等の周囲の人の意見  
⑯ 学費などの経費負担 ⑰ その他(質問7の自由記述へ)

7 質問6で「⑰ その他」を選んだ方は、重視してもらいたい点をお書きください。

8 お子さんが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。次の中から5つ以内で選んでください。

- ① 自ら学び続ける力が身につく教育  
② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育

- ③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育
- ④ 地域を題材として学ぶ教育
- ⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育
- ⑥ 人権に対する意識が高まる教育
- ⑦ 基本的な知識が身につく教育
- ⑧ ICTを積極的に活用する教育
- ⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育
- ⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
- ⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
- ⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育
- ⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育
- ⑭ その他（質問9の自由記述へ）

9 質問8で「⑭ その他」を選んだ方は、期待することをお書きください。

10 お子さんが進学する高校の1学年あたりの学級数（人数）について、あなたの意見に最も近いものはどれですか。質問6の「高校を選ぶときに重視する点」と質問8の「高校に期待する教育」の回答もふまえ、次の中から1つ選んでください。※高校の学級は、1学級40人を基本としています。

- ① 1学級（40人）
- ② 2学級～3学級（80～120人）
- ③ 4学級～6学級（160～240人）
- ④ 7学級以上（280人～）

11 お子さんが進学を希望する高校に通学するとしたら、通学（片道）にかけてもよいと思う時間は、どの程度までなら可能ですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 30分以内まで
- ② 60分以内まで
- ③ 90分以内まで
- ④ 120分以内まで
- ⑤ 121分以上

12 将来（中学・高校・大学等の学校を卒業後）、お子さんにはどこで生活したり、働いたりしてほしいと考えますか。次の中から1つ選んでください。

- ① 地元（現在住んでいる市町）
- ② 地元以外の伊賀地域
- ③ 伊賀地域以外の三重県内
- ④ 県外
- ⑤ 海外
- ⑥ 一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい
- ⑦ 本人の希望次第
- ⑧ 特に考えはない

13 現在、伊賀地域には県立高校が5校配置されており、1学年あたりの学級数は合計25学級規模となっています。今後、伊賀地域でも少子化が進み、15年先の令和21年度には合計11～13学級程度になることが見込まれる中、5校を維持すると各学校の小規模化が進むことから、本協議会では今後の伊賀地域の県立高校の配置のあり方について検討を進めています。このことについて、あなたの意見に最も近いものはどれですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 統合は避けるべき
- ② 一定の統合は避けられない
- ③ 積極的に統合を進めるべき

14 質問13の①～③を選んだ理由や、今後の伊賀地域の県立高校の配置のあり方に関してのご意見をお聞かせください。

15 今後の伊賀地域の県立高校の学びのあり方について、ご意見があればお聞かせください。

※ありがとうございました

## 地域の県立高校に関するアンケート調査の結果について

鈴鹿亀山地域、伊賀地域、松阪地域の活性化協議会では、今年度9月から10月にかけて、地域の公立中学校2年生の生徒、公立中学校2年生と公立小学校5年生の保護者を対象にアンケート調査を実施しました。

調査結果の概要は以下のとおりです。

### (1) 高校を選ぶときに重視する点（主なもの）

#### 【生徒】

	鈴鹿亀山	伊賀	松阪
学校の雰囲気・イメージ	53.1%	48.0%	49.0%
通学のしやすさ・距離	50.5%	49.8%	49.3%
文化祭や体育祭など学校行事が充実	47.6%	46.0%	42.4%
学びたい学科やコースがある	39.1%	42.7%	39.5%
入りたい部活動、部活動が活発	33.9%	35.3%	35.7%

#### 【保護者】

	鈴鹿亀山	伊賀	松阪
学びたい学科やコースがある	69.6%	71.2%	73.3%
通学のしやすさ・距離	69.3%	68.1%	64.4%
興味関心に応じて多様な選択ができる	58.7%	63.3%	59.4%
確かな学力を身につける授業の充実	38.9%	42.8%	39.2%
学校の雰囲気・イメージ	41.8%	35.6%	38.2%

### (2) 高校に期待する教育（主なもの）

#### 【生徒】

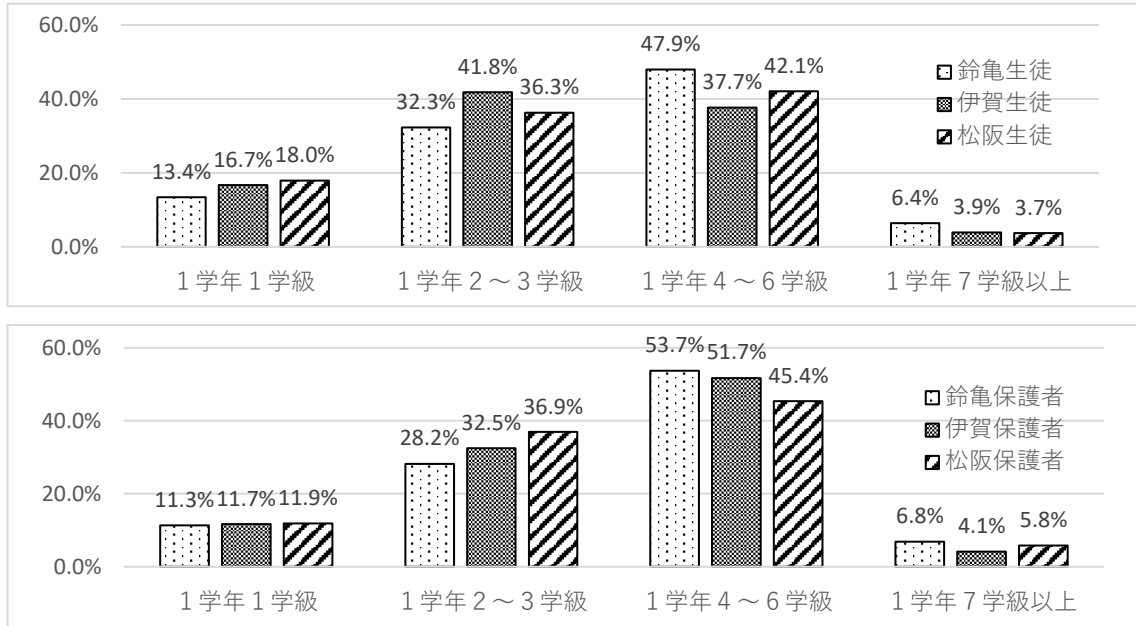
	鈴鹿亀山	伊賀	松阪
自ら学び続ける力	52.0%	54.0%	52.6%
基本的な知識	48.0%	46.2%	43.1%
社会人として必要なマナーや責任感	46.9%	44.2%	42.0%
社会性やコミュニケーション能力など	42.0%	43.2%	40.1%
自ら問いを見つけ主体的に取り組む力	34.1%	32.3%	30.6%

#### 【保護者】

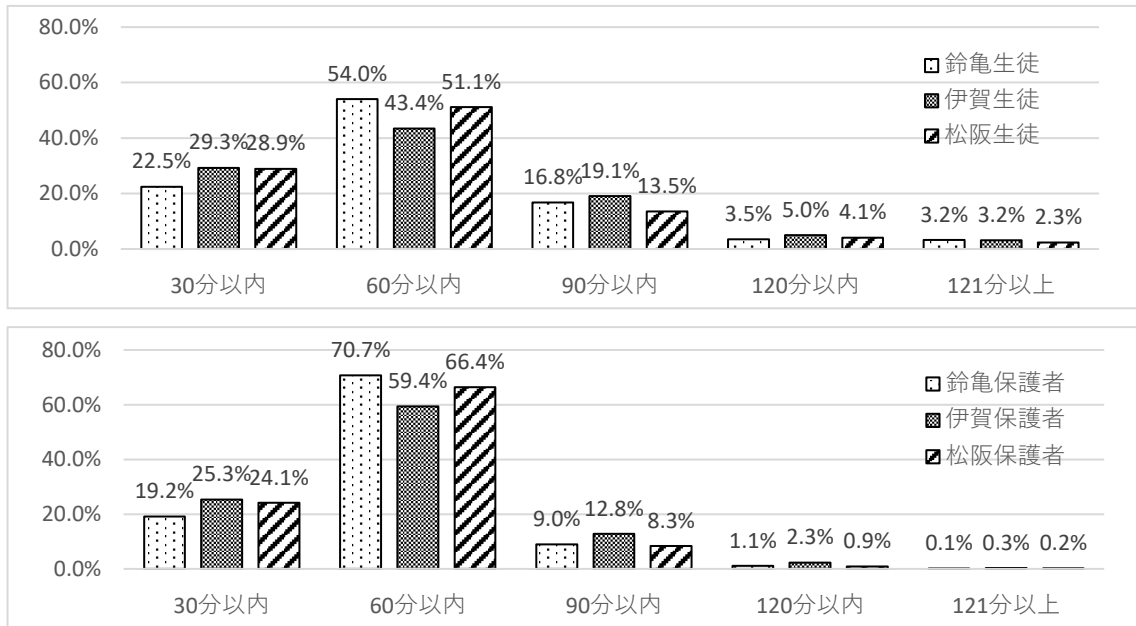
	鈴鹿亀山	伊賀	松阪
自ら学び続ける力	58.5%	59.5%	61.0%
社会性やコミュニケーション能力など	58.5%	58.8%	60.7%
自ら問いを見つけ主体的に取り組む力	50.4%	51.8%	53.6%
多様な選択肢から進路を決定する力	49.6%	52.9%	49.0%
社会人として必要なマナーや責任感	46.1%	44.1%	47.1%



### (3) 希望する学校規模



### (4) 許容できる通学時間



### (5) 今後の地域の県立高校のあり方

